

福島第一原子力発電所1号機原子炉建屋カバー解体工事のうち北3、南3屋根パネルの戻し作業及び2号機海水配管トレンチ止水・閉塞工事に係る現地調査結果について

平成26年12月4日  
福島県原子力安全対策課

- 1 調査日時 平成26年12月4日(木) 5時30分～13時00分
- 2 調査場所 福島第一原子力発電所1, 2号機開閉所前及び2号機海水配管トレンチ部
- 3 調査内容 屋根パネルの戻し作業及び海水配管トレンチにおける充填材の注入作業の現場確認

4 調査結果

(1) 1号機原子炉建屋カバー解体工事のうち北3、南3屋根パネルの戻し作業



① 北3屋根パネル戻し作業の状況

750tクローラクレーンを用いて、専用治具にて北3屋根パネルを吊り上げ、1号機原子炉建屋カバー上へ戻す作業。本日7時25分に作業を開始した。

なお、飛散防止材散布時に開けた孔については、屋根パネルと同様の素材を溶着し、孔を塞いでいる。



## ② 南3屋根パネル戻し作業の状況

本日は北3屋根パネルの戻し作業のみの予定であったが、天候が安定していることから、11時45分に南3屋根パネルの戻し作業を開始した。



- ③ 南3屋根パネルに取り付けられた南2屋根パネル開口部を覆う『はね出し部材』  
突風により飛散防止材散布用機材が接触し、孔が拡大した南2屋根パネルについて、写真中央に位置する『はね出し部材』を南3屋根パネルに取り付け、拡大した孔を上面から覆った。なお、『はね出し部材』の大きさは3.0m×1.5mの長方形の形状である。



④ 北3、南3屋根パネル戻し後の状況

北3、南3屋根パネルが戻された後の全景写真。作業は12時9分に終了した。

## (2) 2号機海水配管トレンチ止水・閉塞工事



### ⑤ ミキサー車から圧送車への充填材の移送

写真中央の灰色の液体が充填材である。セメント、フライアッシュ及び水中不分離混和剤などの配合調整により、高い水中不分離性と流動性を有する材料である。ミキサー車から、写真左の圧送車に充填材を移送している。





**⑥ 圧送車を用いた2号機海水配管トレンチ立坑Aへの充填材注入状況**

2号機海水配管トレンチ立坑Aに充填材を注入している現場の全景写真。立坑Cからの充填材の注入はトンネルB、C一般部の下部から約半分の充填材注入が終了したため、立坑Aから充填材を注入し、トンネルA一般部の閉塞作業を行っている。



⑦ 2号機海水配管トレンチ立坑A付近の状況

2号機海水配管トレンチ立坑Aに充填材を注入している現場の近接写真。

## 5 申し入れ内容

現場確認後、東京電力に対して以下の申し入れを行いましたので併せてお知らせします。

- 次回の屋根パネル開放時までにはダストモニタの二重化及びモニタリング結果のトレンド表示等の監視の強化を確実に行うこと。
- 12月3日に発生したダストモニタのろ紙切れを踏まえ、手順書の見直しを含めたダストモニタの運用管理を徹底すること。
- 今回の北3、南3屋根パネル開放時のガレキ等調査結果を踏まえ、今後の原子炉建屋屋上におけるガレキ撤去作業時における飛散防止対策の必要な強化を図ること。
- 海水配管トレンチの閉塞工事においては、充填材の充填状況を適切に監視・確認しながら慎重に作業を実施し、高濃度滞留水を確実に除去すること。